

# 「不動産のための応用経済（マイクロ経済学Ⅱ）」'08 レジュメ N0.1

クラス担当教員名 <sup>※1</sup>	学籍番号 <sup>※2</sup>	氏名 <sup>※2</sup>

※1:履修登録したクラスの担当教員名を書く

## 0. ガイダンス

### 0-1 講義概要

不動産のためのマイクロ経済基礎（マイクロ経済学Ⅰ）では、完全競争市場について不動産市場を中心に分析した。不動産のための応用経済（マイクロ経済学Ⅱ）では、完全競争市場ではうまくいかない場合はどのような場合で、どういった問題が発生するのか、また、その対策はどう考えたらよいのか、経済学の標準的な考え方を簡単に解説する。不動産のためのマイクロ経済基礎（マイクロ経済学Ⅰ）の講義と同様に、不動産市場を中心として、直観的に理解しやすい図表を用いて説明する。

講義内容を理解するのに難しい「算数」は必要としないが、四則演算程度の計算力は必要である。不動産のためのマイクロ経済基礎（マイクロ経済学Ⅰ）の講義内容は前提とするので、必要に応じて適宜復習しておくこと。また、不動産のためのマイクロ経済基礎（マイクロ経済学Ⅰ）のレジュメやノートは毎回の講義に持参するように。

### 0-2 講義内容

以下のような内容を予定している。確実に理解してもらうために、講義概要冊子よりも内容を絞ってある。

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 不動産のためのマイクロ経済基礎（マイクロⅠ）の復習&テスト① 余剰分析の前まで
- 第3回 不動産のためのマイクロ経済基礎（マイクロⅠ）の復習&テスト② 余剰分析
- 第4回 弾力性とその応用① 弾力性とは何か
- 第5回 弾力性とその応用② 弾力性と企業の収入
- 第6回 弾力性とその応用③ 価格差別
- 第7回 弾力性とその応用④ 弾力性と間接税
- 第8回 外部性①（準備）限界費用とは
- 第9回 外部性② 外部性とは何か？何が問題なのか？
- 第10回 外部性③ ピグー税
- 第11回 外部性④ コースの定理
- 第12回 情報の非対称性① モラル・ハザード
- 第13回 情報の非対称性② アドヴァース・セレクション

### 0-3 教科書・参考文献

特定の教科書は使わずに、レジュメを用いて講義を行う。レジュメは加筆・修正して教科書として出版する予定なので、内容に関するコメントは大歓迎する。参考文献は、以下の2冊を挙げておく。

スティグリッツ, 「マイクロ経済学 第2版」, 東洋経済新報社, 2000.

マンキュー, 「マンキュー経済学（Ⅰ）マイクロ編」, 東洋経済新報社, 2000.

不動産市場の経済分析についてもう少し勉強したい学生は以下の参考文献を読むとよい。他の参考文献について知りたい場合は、担当教員に質問してほしい。

山崎福寿・浅田義久, 「都市経済学」, 日本評論社, 2008.

「不動産のための応用経済（ミクロ経済学Ⅱ）」'08 レジュメ N0.1

クラス担当教員名 <sup>※1</sup>	学籍番号 <sup>※2</sup>	氏名 <sup>※2</sup>

※1:履修登録したクラスの担当教員名を書く

0-4 成績評価の方法

単位をとるには、以下の2通りの方法がある。**2回もチャンスがあるので、追試・再試はしない。**

**A. こつこつコース：毎回の講義で実施する小テストによる平常点評価**

毎回の講義の最後に、講義内容の復習を兼ねて小テストを行う。12,3回の小テストの**得点率の平均が60%以上であれば合格**。例えば、得点率の平均が76%であれば、最終成績は76点（B）。

注1) **出席しただけでは点にならない**。まじめに講義を聞いてそれなりに解けないとだめ。例えば、90分話を聞かずに、名前だけ書いて小テストを出しても0点。

注2) **不正行為があった場合には、この方式による成績評価を中止し、全員期末試験による評価にする。**

**B. 通常コース：期末試験による評価**

期末試験を受験し、**100点満点中60点以上**の成績を収めれば合格。

**注)講義をまじめに受けて、小テストを提出し、なおかつ期末試験を受験してもよい。その場合は、AコースとBコースの点数のよい方を最終成績とする。**

0-5 注意事項

- 遅刻・講義中の私語は厳禁。周囲の学生に迷惑。ひどい場合は減点する。出席して遅刻・私語をした場合、出席しない場合よりも成績評価が低くなるので注意。
- 小テストは最終成績に反映されるので、カンニング等の不正行為は厳禁。不正行為をした場合、この科目の最終評価を不合格とする。**教室が手狭で不可能な場合を除き、期末試験同様、1つおきに着席すること。**
- 講義用レジュメは以下のwebページ（不動産学部ホームページにリンクがはってあります）からダウンロード・印刷して、各自で用意すること。自宅にパソコンがない学生は、メディアセンターを利用すること。**こちらでは印刷・配布はしない。**ダウンロードの仕方がわからない場合は、友人にコピーさせてもらうこと。

2年生①～③クラス：月曜3限：<http://ueco.s206.xrea.com/pukiwiki/>

再履修クラス（3年生以上）：火曜6限：<http://i-isono.seesaa.net/>

- 必ず登録されているクラスに出席すること。**他のクラスに出席しても**、対象学年や講義の進み具合が異なるので、**小テストの成績はカウントされない。**